

2018年度「自然と文化科」活動方針

I. 自然と文化科の理念

『 自然の営みを理解し、人の活動を歴史的に捉え、人と自然の付き合い方を考察し、社会との連携を深める 』

- 趣 旨**
- ① 自然を観察し、自然の営みを研究し、その理解に努める。
 - ② 自然の中で育まれた郷土の歴史、文化を学ぶ。
 - ③ 自然と人間の関係について、知識の習得を図り、考察し、理解を深める。
 - ④ 社会に向けて発信し、貢献活動に努める
 - ⑤ 「参加して楽しい活動」を企画することを心がける。

II. 主たる方針

1. 科員の努力目標を設定する

強制ではなく、努力する目安としての「努力目標」を設定する

- ① 社会貢献活動・箕面公開観察会・講座部補助講師・万博NRのいずれかに、年1回以上参加すること
- ② 入科5年以内に、役員を延べ2年以上担当すること
- ③ 入科初年度に、箕面公開観察会リーダーを1回以上すること(6・7月にリーダー研修を予定)

2. 長期在籍科員の特例を設定する

- ① 在籍10年以上で80才以上の科員は、希望により「委員会活動(企画・運営)」および「活動記録」の作成を免除する。ただし、委員会への所属は義務とする
- ② 代表への申請により、特例措置を適用する

3. 小回りが利く少人数活動の設定

- ① 班別活動を年4回設定する。
班別活動は全日2回、半日2回とし、歴史文化散策と自然観察会のバランスを考えて活動を企画する。その内容は「自然と文化科にふさわしい」ものとする。また、特定の科員の負担とならないよう、十分な配慮をもって企画することが望ましい。
- ② 委員会別活動を3回設定する。
委員会別活動は、全日を1回、半日を2回設定する。総務および広報委員会委員は、他4委員会活動に参加する。

4. 「クロモジ属大調査」(クスノキ科落葉樹の植生大調査)を実施し、調査・研究活動の充実を図る

III. その他の方針

- 1. 「研修&発表会」を2回(講師4名)実施し、「自然と文化について」の研修を行なう。
- 2. シダに関する知識習得のため「シダ講習会」を実施し、箕面公園のシダの観察・調査を行なう。
- 3. 科独自開催の公開講演会は、従来通り、外部講師を招き毎月1回(年間11回)実施する。
- 4. シニア観察会、小学校の出前教室、ゴミ回収活動など、社会貢献活動の一層の充実を図る。
新活動の「小学校自然ふれあい教室」にも2回程度参加する
- 5. 講座生対象の教育実習を実施する。(年間3回・箕面公開自然観察会)
- 6. 講座部に観察会の補助講師を派遣する。(春の自然観察、冬の樹木観察など)
- 7. 高等科との連携を深めるため、当科行事への体験参加や、高等科バスツアーへの参加を企画する
- 8. 科員の懇親を深めるために一泊親睦旅行を1回、日帰りバスツアーを数回実施する。 以上